長崎市立桜馬場中学校　学校教育目標　国際社会に生きるよき日本人の育成

桜中だより No.4

令和７年５月９日
校長

大運動会に向けて、各団長の思い

ゴールデンウィークが終わり、少しずつ暑さも増してくる季節となりました。生徒たちは、今週も大運動会に向けて熱心に取り組んでいます。

今回は、各群の団長さんに思いをつづってもらいました。

赤群　　団長

こんにちは。赤群団長の楠本です。今年の赤群の応援のテーマは「見る人を楽しませる」です。そのために、僕たち赤群では、どのようなことをすれば「見る人を楽しませる」ということができるのか、考えてきました。

また、３－１では、学級のテーマである「結束する」を目標に、３－１のみんなだけでなく、赤群全員が目標に向かって結束し、赤群魂を見せつけます。

本番では、赤群全員が燃え上がって火事を起こします!!　そして、赤群の勇者たちよ、絶対、勝つぞー!!　ヒーヒーフー

青群　　団長

僕は、中学校生活最後の大運動会で、団長として青群を引っ張り、応援優勝できるように、毎日応援練習をしたり、応援団だけで話し合って応援や隊形等の改善を行っています。

また、応援で他群との違いを見せつけるために、青群だけの応援「ハカ」を応援合戦の最初に行います。ハカは、ニュージーランド代表のラグビーチームが試合前に行う伝統的な踊りで、チームの士気をあげ、相手を威嚇するために行います。ならば青群も、青群の士気をあげることで、よい応援にも紐づくと思い、ハカを踊ることにしました。しかし、青群の応援はハカ以外にもすべて素晴らしいものです。僕がこれからもっと青群を引っ張っていき、当日は今よりも素晴らしい応援にしてみせます!!

黄群　　団長

黄群の団長として、みんなを引っ張っていけるよう責任を持って全力でがんばります。仲間と協力し、最後まであきらめず戦う黄群の団結力を見せたいです。

優勝を目指すのはもちろんですが、それ以上にみんなが黄群でよかったと思えるような運動会にしたいです。

全員で最高の思い出をつくりたいです。

緑群　　団長

みなさん、こんにちは。緑群団長の入江悠慎です。私から一つお願いがあります。そのお願いは、応援の時に恥を捨てるということです。

恥がある人は、練習でも本番でも、まず声が出ません。なので、緑群もその他の群の人も、みんな恥を捨てて頑張ってください。

そして、目標である緑群優勝を勝ちとれるよう、全力で頑張ります。

みんな頑張って活動しています。本番に向けて、まとまりも出てきました。

進櫻果敢～Creating the best smile～　テーマに込められた思い

前号で今年度の大運動会のテーマ「進櫻果敢～Creating the best smile～」を紹介しました。なぜこのテーマが生まれたのか？　そこには次のような理由があるとのことです。

【このテーマにした理由】
１つ目：積極的に挑戦できる環境を各群・クラスでつくり「みんなが頑張れる」大運動会にしてほしい。
２つ目：大運動会の自分たちの目標達成のために計画を立て、その計画に沿って行動し、最後までやり遂げる「実行力」を高めてほしい。
３つ目：きつく暑い中での練習などに積極的に取り組み、結果に関係なく「心からの笑顔」を生み出してほしい。

生徒の皆さんの様子を見ていると、朝や昼休みなども熱心に練習を行っており、また、互いに声をかけ合って励まし合う場面も多く見られます。応援練習や長縄の練習、リレーの練習など様々な活動を見ていると、本当にいい表情をしているなあと感じることがあります。

ただ天気が…　当日は晴れますように

今日は雨のため、予定していた全体練習は体育館で行うこととなりました。天気予報を調べてみると来週は前半は晴れですが、後半が雨模様という予報となっています。大運動会当日は、いいコンディションで開催できればと祈るばかりです。

雨が予想されることに伴い、来週の予定を変更せざるを得ない場合も考えられます。その際は、できるだけ早めに tetoru を活用してご連絡できるようにしたいと思います。

保護者の皆様には、ご心配をおかけすることとなりますが、ご理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。

朝から「おはようございます」

第２号でもお伝えしましたが、私は、朝、校門で生徒たちの登校の様子を見ています。最近は、周辺を歩いて、電車通りや商店街付近の登校状況を見ることもあります。毎朝子供たちの安全指導をしてくださっている方とあいさつを交わしたり、すれ違う地域の方と言葉を交わしたり。ちょっとしたことですが、心が温まる時間になっています。

あいさつ。ちょっとしたことなのですが、元気なあいさつをもらうと、不思議なことに元気をもらったような感覚になり、自分の表情がにこやかになっているのを感じます。「こんにちは」「お疲れ様」などとあいさつを交わすことは、お互いを気にかけたり、温かい関係を築いたり、笑顔を生み出したりすることになるのだろうと思います。昔から「あいさつをしよう」と指導されてきたことは、より良い生活を生み出すための一つの方法、きっかけなのかなと、改めて感じます。

朝からあまり気分がよくない状態で登校することもあると思います。そのようなとき、だれかとあいさつを交わしたことで「少し気分がよくなった」「温かい気持ちになった」などと感じることがあったら、そのあいさつはとても大きな意味を持つものになりますね。